

旅のまとめ

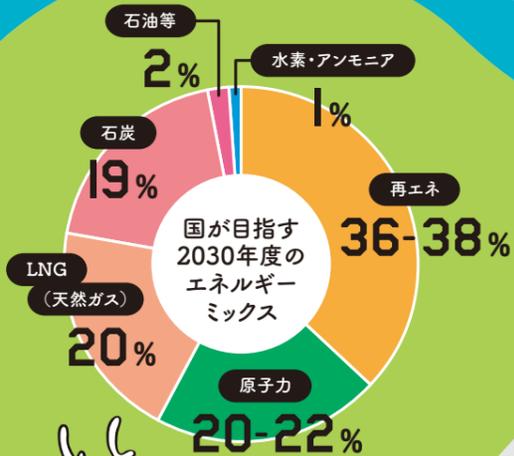
TRAVEL SUMMARY

エネルギー資源が乏しい日本では、これまでさまざまな電源を活用することで、一つのエネルギー資源に依存するリスクを回避し、電源を多様化してきました。



さまざまなエネルギー源にはメリット・デメリットがあり、エネルギー源を組み合わせる際に重要となるのが「S+3E」の観点です。

S+3Eの概念



エネルギー源の中でも、原子力は3Eを満たす優れた特性を持っており、エネルギーミックスの一翼として欠かすことができない重要な電源です。



電源の脱炭素化に向け、関西電力グループは、原子力発電と再生可能エネルギーの両輪で取り組んでいきます。また、安定供給において調整力等に優れた火力発電も重要な電源の一つと位置付け、ゼロカーボン化に取り組むこととしています。

私たちは低炭素化に向けた取組みを推進することで、SDGs等のグローバルな社会課題を解決し、社会の持続的な発展に貢献します。



<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>
-----------------------------	-----------------------	------------------------

SDGsとは2015年に国連で採択された「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」のことです。

ブランドステートメント



このブランドステートメントは、関西電力グループとお客様や社会との約束です。“まごころと熱意を込めたサービスで、お客様や社会の『力』になりたい”という想いを込めています。

ゼロカーボンビジョン2050



ゼロカーボンエネルギーのリーディングカンパニーとして、発電事業をはじめとする事業活動に伴うCO₂排出を2050年までに全体としてゼロとします。